

3君の脱退表明を絶対に認めない！ 彼らの行為は、東海労の運動を否定する組織破壊行為でしかない！

1 1月14日、東海労本部事務所に、藪秀一、田村浩彰、森下暢紀の3君が脱退届を持ってきました。奇しくもその日、JR総連が東海労の除名を決定するため12月12日に臨時大会の開催を決定したと見事に歩調を合わせた行動です。

3君は、脱退する理由として「東海労はJR総連とかけ離れた方向に行ってしまった。JR総連と共に進む。」と言っています。

私たち東海労は、結成から今日まで、職場の労働者の権利と利益を守るために闘ってきました。そのことを象徴的に表した表現が「東海の地に労働運動の炎を燃やし続ける」であり、現在もJS労の仲間と共に闘い続けているのです。

このような職場で働く労働者の権利と利益を守るための闘いを否定して、真実を捻じ曲げ、組合員を騙し、私たちを「組織破壊者」にでっち上げ、「除名」しようとしているのが現在のJR総連指導部です。

まさに現在のJR総連は、私たち東海労が展開している職場の労働者の権利と利益を守る闘いとは無縁で、全くかけ離れた方向に行こうとしています。

いったい3君は、現在のJR総連と共に進むために東海労の運動を否定して脱退し、今後、職場の労働者の権利と利益を守る闘いをどう展開しようとしているのでしょうか？これまで3君が断片的に語っていたことに、職場の労働者の権利と利益を守るための具体的な問題提起も実践ありません。

ただただ「JR総連と共に」と空語的に語るだけで脱退する3君の行為は、職場の労働者の権利と利益を守るために闘っている東海労への組織破壊行為以外のなにものでもありません。

私たち新幹線関西地本は、3君の脱退表明に抗議し、このような東海労組織を破壊する行為を絶対に許しません。

そして、今後も東海の地から労働運動の炎を燃やし続けていくことを明らかにします。

2024年11月15日
JR東海労新幹線関西地本